



小島 智恵 議員
(政風クラブ)



乗車率向上を図るべく、町は戸別訪問等の調査により意見や要望をお伺いしていると聞きする。今回の調査結果をどう生かしていくか、今後について伺う。

- (1) 乗車状況。
- (2) 戸別訪問等の調査結果。
- (3) 障がい者割引の考えは。
- (4) 今後の見通し。停留所以外で手を挙げたら乗車可能にできないか。

町長 (1) 本年度5カ月間の利用人数の前年同月との比較では、両路線とも増加しており、幕別線は326人、札内線は133人の増となっている。

- (2) 自家用車を所有していない方の7割以上が、スーパーでの買物や通院が主な乗車目的であり、交通弱者の「地域の足」として重要な役割を担っていることを確認した。運賃については、全ての方が「安い」「妥当」との回答であった。
- (3) 現行の100円という料金が路線バスの障害者割引適用後運賃と

問 コミバス利用時、手を挙げたら乗車（降車）可能にできないか（フリー乗降）

答 今後、検討していく

比べても安価な運賃設定となっており、適正な負担と考えている。

(4) 交通量の多い路線や交差点付近での停車は道路交通法上の許可を伴うことや、運行距離の長い札内線においては、停車箇所の増加により、運行時間が長くなるおそれがあることから、現状では停留所での乗車が適当と考えている。

再質問 コミバス利用者の内訳では、通学の利用が多く占めているのではないかと考えてよいか。

答 地域（高齢者、交通弱者等）の足を確保する大事な方法と自覚して実施している。

問 送迎の継続あるいは保健福祉センター（浴場）の活用を

答 個別に説明している。衛生管理上、望ましくない

問 近年、自宅に浴室を有する家庭が多いが、中には有していない家庭もあり、これまで公衆浴場が利用されてきた。「公



今年7月19日に廃業した公衆浴場

- (1) 公衆浴場を利用してきた方の実人数、年齢層、利用状況。
- (2) 公衆浴場への補助実績は。
- (3) 送迎に係る今後の費用。
- (4) 今後の方向性。保健福祉センター内の浴場活用について見解は。

町長 (1) 定期的に利用されてい

た町民は約30人と聞いている。現在実施している無料送迎を利用されている方の年齢層は8名全員が65歳以上で、直近2カ月で7月は延べ24人、8月は延べ29人の利用があった。

- (2) 昨年度は、運営費100万円、下水道料金15万6000円を助成している。また、公衆浴場の設備の老朽化に伴う修繕が行われ、その費用に対する補助金は、総額278万1000円である。
- (3) 10月以降（3月まで）、週2回運行した場合で約57万円の費用と見込んでいる。
- (4) 来年3月までは送迎を継続する。レジオネラ症の防止対策や衛生管理に不備が生じると、デイサービス事業の利用者に影響が及ぶことも考えられ、望ましくない。

再質問 (1) 送迎利用の8人を除く22人は自力で離れた入浴施設に行っているのか。

(2) 現在の送迎（定員）体制では、全員が週2回入浴できないのでは。

答 (1)（送迎開始前の聞き取り）自宅にお風呂のある方もいる。自家用車のある方や家族等の車、JRなどを利用し入浴すると聞いている。

(2) 運転手を除く6人乗りの車での対応であり、理解していただきたい。